

# 第3回 八坂小・中学校準備委員会 次第

日時 令和4年4月19日（火）午後5時～6時

会場 八坂公民館 交流ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 小中一貫校の校名候補の選定について

4 会議事項

(1) 整備項目について

5 閉 会

## 小中一貫校の校名（案）について

### 1 校名候補選定に関する経過について

- ◇ 第1回 八坂小・中学校準備委員会〔令和3年11月25日(木)開催〕
    - ・学校名を一般公募により実施することを確認
  - ◇ 12月定例教育委員会〔令和3年12月20日(月)開催〕
    - ・小中一貫校「学校名」募集要領の確認
    - ・募集要領に基づき「1月1日～31日(1カ月間)」一般公募を実施
  - ◇ 第2回 八坂小・中学校準備委員会〔3月11日(金)開催〕
    - ・校名の募集結果を確認
    - ・校名候補の選定基準・方法等を確認
    - ・校名案の中から協議により校名候補3点を選定
- ※「小中一貫校の校名候補の選定について(報告)」を3月14日(月)に教育委員会へ提出
- ◇ 3月定例教育委員会〔3月14日(月)開催〕
    - ・八坂小・中学校準備委員会からの報告書を確認・協議
    - ・小中一貫校の校名候補の選定

### 2 校名の募集結果について

(1) 応募者数 42人

① 住所地別

市内	31人	県外	2人
県内	1人	未記載	8人

※ 県内：松川村 ※ 県外：東京都、神奈川県

② 世代別

10代以下	9人	40代	4人	70代	3人
20代	0人	50代	10人	80代以上	2人
30代	2人	60代	7人	未記載	5人

※ 7歳～90歳

(2) 応募件数 73件(校名案：50件)

### 3 選定方法・選定結果について

(1) 選定基準

校名候補は、漢字、ひらがな及びカタカナ等により表記された読み書きが容易な校名で、①から⑤の条件の1つ以上に該当するものとする。

- ① 地理的にイメージできる校名
- ② 地域の特徴を表す校名

- ③ 地域の歴史・文化にちなんだ校名
- ④ 住民等の理想・願いにちなんだ校名
- ⑤ その他校名としてふさわしい校名

(2) 選定方法・選定結果

協議により校名候補を次の3点とした。

大町市立 <small>やさかしょうちゅう</small> <b>八坂小中学校</b>	大町市立 <small>やさかさとやま</small> <b>八坂里山学校</b>	大町市立 <small>やさか</small> <b>八坂学校</b>
---	---	---

#### 4 教育委員会の選定結果について

3月14日開催の3月定例教育委員会で協議し、校名（案）を次のとおり選定した。

<b>教育委員会で選定した校名（案）</b>	<b>大町市立八坂小中学校</b>
------------------------	-------------------

**【選定の主な意見】**

- ・義務教育学校では、小中学校を使用することの方が分かりやすい。
- ・校名から、どのような学校であるか分かる方がよい。
- ・八坂地区の小中一貫校ということがシンプルに分かる方がよい。
- ・親しみやすく幅広い世代にも受け入れる。

## 小中一貫校移行に向けた整備事項

黄色い網掛けの整備事項は、これまでの準備委員会で確認済。

整備事項	案 及び 確認内容																	
1 学校の名称	八坂小中学校 ※3月14日定例教育委員会で校名（案）選定																	
2 校 歌 ※ デモテープを 確認してから決定 する。	「八坂小学校校歌」を改変する。 八坂の小学生 ⇒ 1番 八坂のこども 2番 八坂でまなぶ 3番 八坂にいきる ※ 著作権者（管理者）の許諾が必要となる。 ※ 校歌の扁額を体育館に飾りたい。																	
3 校 章	小学校の校章を使用する。  素材は八坂の頭文字「八」を図案化するとともに、鷹狩・金戸両山系に囲まれた心温かい強度を象徴する。 ※ 校名に「八坂」が入ることから現八坂小学校の「八」の図案を採用。																	
4 入学式・卒業式	・前期課程1年 入学式 ・前期課程6年 修了式 修了証を授与する。 ・後期課程7年 進級式 ・後期課程9年 卒業式 卒業証書を授与する。																	
5 校舎名	<p><b>【これまでの経過】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校名が決まってから、校舎名を決める方がよい。</li> <li>・電話等受付時に識別できるようにした方がよい。</li> </ul> <p><b>【参考資料】 施設分離型 義務教育学校</b></p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>自治体名</td> <td>京都府京都市</td> <td>鳥取県日野郡江府町</td> </tr> <tr> <td>学 校 名</td> <td>東山泉小中学校</td> <td>奥大山江府学園</td> </tr> <tr> <td>開校年月</td> <td>平成26年4月</td> <td>令和4年4月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">校 舎 名</td> <td>西学舎（1～5年生）</td> <td>ブナの森校舎（1～5年生）</td> </tr> <tr> <td>東学舎（6～9年生）</td> <td>日野川校舎（6～9年生）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※ 条例には校舎名は規定されていない。</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【愛称】</b> 現小学校：そよかぜ校舎 丘の上に立地し、風が吹き抜けることをイメージ 現中学校：せせらぎ校舎 金熊川、塩沢川の合流地であることをイメージ</p>	自治体名	京都府京都市	鳥取県日野郡江府町	学 校 名	東山泉小中学校	奥大山江府学園	開校年月	平成26年4月	令和4年4月	校 舎 名	西学舎（1～5年生）	ブナの森校舎（1～5年生）	東学舎（6～9年生）	日野川校舎（6～9年生）	※ 条例には校舎名は規定されていない。		
自治体名	京都府京都市	鳥取県日野郡江府町																
学 校 名	東山泉小中学校	奥大山江府学園																
開校年月	平成26年4月	令和4年4月																
校 舎 名	西学舎（1～5年生）	ブナの森校舎（1～5年生）																
	東学舎（6～9年生）	日野川校舎（6～9年生）																
※ 条例には校舎名は規定されていない。																		

整備事項	案 及び 確認内容
<p><u>6 職員配置</u> ※ 県教委と調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現小学校：校長 教頭</li> <li>・ 現中学校：副校長 主任（教諭1名加配）</li> <li>・ 養護教諭・事務職員は現状通り、各校舎1人の配置</li> </ul>
<p><u>7 式典等</u></p>	<p>両校とも「閉校」ではないので、実施しない。  令和5年両校舎の入学式・始業式の式次第に一貫校開始の内容を付け加える。  小中両校ともなくなるわけではないので、大きなイベントは行わず、職員の力を教育活動に専心させたい。</p>
<p><u>8 制服</u></p>	<p>現状 男子は標準学生服。女子は仁科台中学校と同じ。男女とも、「おさがり」を着用する生徒が多い。</p> <p>※ 発注数が極端に少ないため、八坂だけの制服が今後永続的に製造・販売されるか不透明である。</p> <p><b>【これまでの経過】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一中・仁中の新中学校の方針を参考に決める。</li> <li>・ 生徒の意向を伺うなど再度調査してから決める。</li> <li>・ 新たに制服を使用する学年からでよい。</li> <li>・ 式典と登下校の服装を分けてほしい。</li> <li>・ 現行の制服も標準タイプで今後も販売される見通し。</li> <li>・ 美麻と制服をあわせることはできないか。山留生の再利用。</li> </ul>